

(切り離してご利用ください)

申立書類等綴り

○診断書関係

- ・ お願い（主治医の方へ）…………… 2 頁
- ・ 診断書，診断書付票…………… 3 頁
- ・ 診断書記入例…………… 5 頁

○事情説明書関係

- ・ 本人事事情説明書…………… 7 頁
- ・ 候補者事情説明書…………… 10 頁
- ・ 本人収支表…………… 13 頁
- ・ 財産目録…………… 14 頁
- ・ 財産目録（本人に相続すべき財産がある場合）…………… 20 頁
- ・ 親族関係図…………… 26 頁
- ・ 親族同意書について，親族同意書…………… 27 頁

診 断 書 関 係

- ・「申立ての手引」５頁をお読みください。
- ・ 診断書を作成していただく医師の方に「お願い（主治医の先生へ）」を渡してください。
- ・ 医師に、「診断書」と「診断書付票」に記入していただいでください。

お 願 い（主治医の先生へ）

長野家庭裁判所

この度先生がご担当の（本人 ）さんに対し、後見開始等の審判申立が検討されています。ついては、診断書の作成や必要がある場合の鑑定書の作成について、何卒ご理解、ご協力をお願いいたします。

1 診断書について

- (1) 家庭裁判所では、親族等の申立てに基づき、本人の能力がどの程度で、どの程度の援助が必要か、誰を援助者に選任するかなどを判断します。その際、本人の状況を明らかにする資料とするために、申立てに際して「診断書」の添付をお願いしております。記入例を参考にいただき、診断書の作成をお願いします。
- (2) ご提出の診断書の内容について、後日、家庭裁判所調査官等から電話で確認をさせていただくことがあります。申立てをした方（親族等）の承諾を得た上で問い合わせしておりますので、ご協力をお願いいたします。

2 鑑定について

- (1) 鑑定に際しては、「良心に従って誠実に鑑定する」旨を記載した宣誓書等は郵送で提出をお願いしており、わざわざ家庭裁判所にお越し願うことはありません。また、通常、家庭裁判所での証人尋問等を行われません。
- (2) 家庭裁判所では、本人の負担を軽減するため、なるべく本人の病状や実情を最も把握されている医師（主治医）に鑑定をお願いしております。そのため、後見開始等の申立予定者には、事前に主治医の先生に、本人の鑑定の引受けに関するご意向をお尋ねした上で、申立てをするようお願いしています。

ご多忙中恐縮ですが、別添の「診断書付票」に必要事項をご記入の上、申立予定者に手渡して下さい。お引き受け願えない場合は、その旨を申立予定者にお伝え下さい。正式に鑑定をお願いする場合には、後日書面を送付させていただきます。

診 断 書 (成年後見用)

1 氏名 生年月日 M・T・S・H 年 月 日生 (男・女 歳) 住所
2 医学的診断 診断名 所見 (現病歴, 現在症, 重症度, 現在の精神状態と関連する既往症・合併症など)
3 判断能力についての意見 (下記のいずれかにチェックし, 必要に応じて余白に記入する。) ☐ 自己の財産を管理・処分することができない。(後見相当) ☐ 自己の財産を管理・処分するには, 常に援助が必要である。(保佐相当) ☐ 自己の財産を管理・処分するには, 援助が必要な場合がある。(補助相当) ☐ 自己の財産を単独で管理・処分することができる。 意見の根拠 (説明・検査所見) ①意識・疎通性 ☐ 意思の疎通ができない状態が継続している (「眼を開け」「手を握れ」などの簡単な命令には応ずることもあるが, それ以上の意思の疎通が不可能である場合も含む。) ☐ 意思の疎通ができていたように見えても意味が通じない又は通じないことが多い。 ☐ ②記憶力 ☐ 自己の年齢 (☐ 回答できない ☐ 回答できる) ☐ ③見当識 ☐ 日時 (☐ 回答できない ☐ 回答できる) ☐ 場所 (☐ 回答できない ☐ 回答できる) ☐ ④計算力 ☐ 計算は全くできない。 ☐ ⑤理解・判断力 ☐ 理解不能 ☐ ⑥知能検査, 心理学的検査 ☐ 検査不能 ☐ HDS-R 点, 検査日: 平成 年 月 日 ☐ IQ = , 検査日: 平成 年 月 日 ☐ その他の検査 ⑦その他特記事項 ☐ 遷延性意識障害又はそれに準じる状態 (状態の継続期間: ☐ 3か月未満 ☐ 3か月以上) ☐ 備考 (本人以外の情報提供者など)

以上のとおり診断します。

病院又は診療所の名称・所在地
担当診療科名
担当医師氏名

平成 年 月 日

印

診 断 書 付 票

診断書と併せて、以下の項目にもご回答くださいますようご協力をお願いします。

＊新しい成年後見制度においては、鑑定が必要な場合、精神科医に限ることなく、できるだけ本人の状態を把握されている医師（主治医）に鑑定をお願いし、ご協力いただいております。

＊鑑定に際しては、わざわざ家庭裁判所にお越しいただくことはありません。

＊正式に鑑定をお願いする場合は、後日、家庭裁判所からご連絡します。

1 家庭裁判所の審理過程で、改めて本人の精神の状況について鑑定を依頼した場合、お引き受けいただけますでしょうか。

☐ 家庭裁判所から鑑定を依頼された場合、鑑定を引き受ける。

☐ 鑑定を引き受けることはできないが、下記の医師を紹介する。

氏名 _____

病院等の名称 _____

所在地 〒 _____ TEL _____

2 鑑定をお引き受けいただける場合に、ご回答ください。

(1) **鑑定費用**（一般的には5万円前後でお引き受けいただいております。）

☐ 3万円 ☐ 5万円 ☐ その他（_____円）

(2) **鑑定期間**（一般的には鑑定依頼文書を送付後、1～2か月で鑑定書をご提出いただいております。）

☐ 1か月 ☐ 2か月 ☐ _____ か月

(3) **鑑定書作成の手引の送付希望**（最高裁判所のホームページ（<http://www.courts.go.jp>）からも取得することができます。）

☐ 希望する ☐ 希望しない

(4) **書類の送付先**

☐ 診断書記載の病院等の住所地と同じ

☐

記入例

(家庭裁判所提出用)

診断書 (成年後見用)

1 氏名

甲野太郎

男・女

生年月日

M・T・S・H

〇〇

年

〇〇

月

〇〇

日生

(

〇〇

歳)

住所

〇〇市〇〇町△-△-△

2 医学的診断

診断名

アルツハイマー型認知症

所見 (現病歴, 現在症, 重症度, 現在の精神状態と関連する既往症・合併症など)

平成〇〇年〇月〇〇日から物忘れ, 徘徊, せん妄が出現し, 漸次増悪。同年〇〇月〇〇日, 当院受診。平成△△年〇月〇〇日から在宅介護困難となり, 特別養護老人ホーム「〇〇」に入所。現在は, ほとんど自発語なく, 寝たきりの生活状態となっている。

3 判断能力についての意見 (下記のいずれかにチェックし, 必要に応じて余白に記入する。)

☒ 自己の財産を管理・処分することができない。(後見相当)

☐ 自己の財産を管理・処分するには, 常に援助が必要である。(保佐相当)

☐ 自己の財産を管理・処分するには, 援助が必要な場合がある。(補助相当)

☐ 自己の財産を単独で管理・処分することができる。

意見の根拠 (説明・検査所見)

①意識・疎通性

☐ 意思の疎通ができない状態が継続している (「眼を開け」「手を握れ」などの簡単な命令には応ずることもあるが, それ以上の意思の疎通が不可能である場合も含む。)

☒ 意思の疎通ができていように見えても意味が通じない又は通じないことが多い。

☐

②記憶力

☒ 自己の年齢 (☒ 回答できない ☐ 回答できる)

☒ 経歴も答えられない。

③見当識

☒ 日時 (☒ 回答できない ☐ 回答できる)

☒ 場所 (☒ 回答できない ☐ 回答できる)

☒ 家族などの人物も識別できない。

④計算力

☒ 計算は全くできない。

☐

⑤理解・判断力

☒ 理解不能

☐

⑥知能検査, 心理学的検査

☐ 検査不能

☒ HDS-R 3点, 検査日: 平成〇〇年〇〇月〇〇日

☐ IQ=, 検査日: 平成 年 月 日

☒ その他の検査 MMSE 4点 (平成〇〇年〇〇月〇〇日)

⑦その他特記事項

☐ 遷延性意識障害又はそれに準じる状態 (状態の継続期間: ☐ 3か月未満 ☐ 3か月以上)

☒ 認知症の程度は重度で, 判断能力が欠けていることは明らかである。

備考 (本人以外の情報提供者など)

○下段のチェック欄には, 上段のチェック欄に当てはまらない場合や, 付加的に記入することがある場合に, その内容を記入してください。

○検査結果は, 実施している場合に記入してください。

以上のとおり診断します。

病院又は診療所の名称・所在地

〇〇市〇〇町××番地 (電話: ×××-×××-××××)

担当診療科名

〇〇総合病院 精神科

担当医師氏名

長野太郎

平成 〇〇 年 〇〇 月 〇〇 日

印

○電話番号も記入してください。

- 5 -

事 情 説 明 書 関 係

- ・別冊の「記入例集」を参考にして記入してください。

本 人 事 情 説 明 書

※申立人か候補者のうち、本人の事情を詳しく把握している方が記入してください。

平成 年 月 日

記入者の氏名

印

1 本人の現在の状況

(1) 本人は、現在どこで生活していますか。

☐ 病院又は施設 ※ 病院、施設までの交通手段が分かるパンフレット等があれば添付してください。

名 称

所 在 地

電 話 番 号

担当職員氏名

最寄りの公共交通機関

(電車) 最寄りの駅： 線 駅

(バス) 最寄りのバス停： バス (行き) 下車

☐ 自宅 同居者 → ☐ なし (1人暮らし)

☐ あり (人同居)

(2) 本人の心身の状態 (※ 該当の手帳、介護保険証のコピーを添付してください。)

ア 手帳交付の有無

☐ なし

☐ あり → ☐ 療育手帳 (A1・A2・B1・B2)

☐ 精神障害者保健福祉手帳 (1・2・3 級)

☐ 身体障害者手帳 (1・2・3・4・5・6 級)

イ 要介護認定の有無

☐ なし

☐ あり → ☐ 要支援 (区分 1・2) ☐ 要介護 (区分 1・2・3・4・5)

ウ 日常生活動作について

移動 → ☐ 寝たきり ☐ 車椅子で可 ☐ 介助あれば歩行可 ☐ 自立歩行可

食事 → ☐ 胃ろう ☐ 経管栄養 ☐ 全介助 ☐ 部分介助 ☐ 介助不要

排泄 → ☐ 要全介助 ☐ 介助あれば可 ☐ 自力で可

着替え → ☐ 要全介助 ☐ 介助あれば可 ☐ 自力で可

入浴 → ☐ 要全介助 ☐ 介助あれば可 ☐ 自力で可

エ 意思疎通や理解力について

会話 → ☐ 言葉が出ない ☐ 簡単な応答程度

☐ 簡単な応答以上の会話はできない ☐ 日常会話が可能

日付 → ☐ 分からない ☐ 分からないときがある ☐ 分かる

時間 → ☐ 分からない ☐ 分からないときがある ☐ 分かる

場所 → ☐ 分からない ☐ 分からないときがある ☐ 分かる

家族 → ☐ 分からない ☐ 分からないときがある ☐ 分かる

計算 → ☐ できない ☐ 一桁の足し算，引き算程度はできる ☐ できる

金銭 → ☐ 分からない ☐ 分からないときがある ☐ 分かる

2 本人は，今回の手続をすることを知っていますか。

☐ 話していないので知らない

☐ 話したが理解しているのかどうか分からない

☐ 知っている → 手続をすることに ☐ 同意している ☐ 反対している

3 本人の略歴（最終学歴，主な職歴）と病歴（入院歴，主な病名）を分かる範囲で記入してください。

年月日	略歴・病歴	年月日	略歴・病歴
・ ・	人きょうだいの 番目として出生	・ ・	
・ ・	最終学歴（ ）卒業	・ ・	
・ ・		・ ・	
・ ・		・ ・	
・ ・		・ ・	
・ ・		・ ・	
・ ・		・ ・	

4 本人の親族

- (1) 本人の配偶者、子、親、兄弟姉妹等、本人の相続人となるべき方々の氏名、住所等を記入してください。「同意の有無」欄には、その人が今回の手続について同意しているか否かについて書いてください（「あり」、「なし」、「不明」など）。

なお、上記親族の記載された親族関係図を作成し、上記親族の同意書を添付してください（同意書は可能な範囲で結構です。）。

[illegible]

- (2) 本人の身上看護、財産管理等について、親族の間に意見の違いはありますか。
- ☐ ない
- ☐ ある（誰と誰との間で、どのような違いがあるのか具体的に書いてください。）

5 本人の財産について

現在、本人の財産及び収支を事実上管理しているのは誰ですか。

- ☐ 本人
☐ 申立人
☐ 施設
☐ その他の人（氏名
☐ 不明

※ 本人の財産状況について、記入例を参考にして、別添の「財産目録」及び「本人収支表」を作成し、財産の内容を示す資料（不動産登記簿謄本、通帳や証書など）や収支内容を示す資料（年金証書、源泉徴収票、支払明細書など）のコピーを付けてください。

候補者事情説明書

※成年後見人等の候補者の方が記入してください。

平成 年 月 日

候補者の氏名 _____ 印

1 あなたが候補者となった理由（複数回答可）

- ☐ 本人と同居している ☐ 親族と協議した結果 ☐ 他に適任者がいない
☐ その他（ _____ ）

2 本人との日常の交流状況（面会、介護、援助、事務等）

3 あなたは、次のいずれかに該当しますか。

- ☐ 次の者に該当する。
☐ 家庭裁判所で成年後見人等を解任されたことがある
☐ 破産宣告を受けたことがある
☐ 本人に対して訴訟をしたことがある
☐ 本人に対して訴訟をしたことがある人の（☐ 配偶者 ☐ 親 ☐ 子）である
☐ いずれにも該当しない。

4 あなたの現在の生活状況・健康状態など

(1) 住所及び連絡先の電話番号

- ☐ 申立書記載のとおり
☐ 次のとおり

〒 _____ ー _____

住所： _____

平日昼間の連絡先：電話 _____（ _____ ） _____（携帯・自宅・勤務先）

（※ 裁判所名で電話しても よい・差し支える）

(2) 職業（職種、勤務先、勤務先での役職など）

(3) あなたの最近の健康状態

- ☐ 普通の健康体である
☐ 具合が悪い（具体的な症状： _____ ）
☐ 通院治療中（以下に病名、病院名、通院の頻度について書いてください。）

(4) あなたの経歴（最終学歴・職歴（主要なもの））について書いてください。

年月日	経 歴 事 項	年月日	経 歴 事 項
・ ・	学校（卒業・中退）	・ ・	
・ ・		・ ・	
・ ・		・ ・	
・ ・		・ ・	
・ ・		・ ・	

(5) あなたの家族（同居している方のみ記入してください。）

氏 名	年 齢	続 柄	職 業

5 あなたの収入，財産状況

収入，負債，保証債務については裏付けとなる資料（源泉徴収票，確定申告書，借用証書，住宅ローンの返済予定表，保証契約書など）のコピーを付けてください。

(1) 収入（税込）

☐ 給与収入 年収 _____ 円 ☐ 年金収入 年収 _____ 円
☐ 不動産収入 年収 _____ 円 ☐ その他 年収 _____ 円

(2) 所有する財産

☐ 預貯金 合計 _____ 円 ☐ 有価証券（評価総額 _____ 円）
☐ 不動産 土地 _____ 筆（宅地 _____ 筆，田畑 _____ 筆，その他 _____ 筆）家屋 _____ 棟

(3) 負債（借金）

☐ なし

☐ 以下の負債あり

☐ 住宅ローン（残高 _____ 万円【毎月支払： _____ 万円 / 賞与月： _____ 万円】）

☐ その他の負債（負債の種類 _____ / 負債残高 _____ 万円）

☐ 保証債務 （具体的に _____ ）

(4) 本人との金銭の貸し借り、担保提供、保証関係、清算を要する立替えなど

貸借関係 ☐ なし ☐ あり（具体的に _____ ）

担保提供 ☐ なし ☐ あり（具体的に _____ ）

保証人関係 ☐ なし ☐ あり（具体的に _____ ）

立替払い ☐ なし ☐ あり（具体的に _____ ）

※ 「あり」の場合、関係書類（借用書、担保権設定契約書、保証に関する書類、領収書、立替払いを示す領収書・出納帳等）のコピーを付けてください。

6 本人の財産状況と身上監護状況に対する今後の方針、計画

☐ 現状を維持する（本人の財産状況、身上監護状況を変える予定はない）

☐ 以下のとおり、財産状況を変化させる予定がある

（以下、具体的な内容を書いてください。）

☐ 以下のとおり、身上監護の状況を変化させる予定がある

（現在の病院・施設からの転院等の予定があれば、具体的に書いてください。）

7 家庭裁判所があなた以外の方を後見人・保佐人・補助人に選任するかもしれないことをご存知ですか。

☐ 承知している

☐ 承知していない（初めて知った）

8 成年後見人・保佐人・補助人の役割及び責任についてご存知ですか。

☐ 理解している

☐ 次のことがわからない、又はもっと知りたい

本人収支表（本人 ）

各 種 収 入	月 額（月 額 換 算）	備 考
給与		
年金（ ）		
年金（ ）		
賃料収入		
その他（ ）		
その他（ ）		
その他（ ）		
収入合計（月額）	月額	円 …①

各 種 支 出	月 額（月 額 換 算）	備 考
医療費（入院費・通院費）		
施設使用料		
所得税		
住民税		
固定資産税		
社会保険料		
介護保険料		
生活費（食費等）		
生命保険料		
損害保険料		
負債の返済		
その他（ ）		
その他（ ）		
その他（ ）		
支出合計（月額）	月額	円 …②

※収入①－支出②＝月額（＋・－）	円 …③
※年額換算（③の12倍）（＋・－）	円

財産目録（本人氏名 ）

1 現金・預貯金・国債（県民債・市債を含みます。）

※ 普通預貯金や通常貯金等は「普」に○印を、定期預貯金や定額貯金等は「定」に○印を、国債、県民債、市債等は「国」に○印を、それぞれ付してください。

また、通帳や証書（国債証券及び地方債証券を除く。）のコピーを添付してください。

なお、1番は現金ですが、現金管理はできるだけ少額にしてください。

	1	2	3	4	5	合 計
種 別	現 金	普・定・国	普・定・国	普・定・国	普・定・国	
金融機関名 (支店名)						
口座番号						
保管者						
確認日	・ ・	・ ・	・ ・	・ ・	・ ・	
最終残額	円	円	円	円	円	円
備 考						

ここから下は、後見人になった人が記入する欄です。申立ての際には記入しないでください。

確認日 最終残額	・ ・ 円	・ ・ 円	・ ・ 円	・ ・ 円	・ ・ 円	円
	・ ・ 円	・ ・ 円	・ ・ 円	・ ・ 円	・ ・ 円	円
	・ ・ 円	・ ・ 円	・ ・ 円	・ ・ 円	・ ・ 円	円
	・ ・ 円	・ ・ 円	・ ・ 円	・ ・ 円	・ ・ 円	円
	・ ・ 円	・ ・ 円	・ ・ 円	・ ・ 円	・ ・ 円	円
	・ ・ 円	・ ・ 円	・ ・ 円	・ ・ 円	・ ・ 円	円
備 考						

※（注）定期預金や国債等は額面の記入で結構です。

(※ 前ページで足りない場合に記入してください。その場合は前ページの合計欄は記入せず、このページの合計欄に記入してください。)

※ 普通預貯金や通常貯金等は「普」に○印を、定期預貯金や定額貯金等は「定」に○印を、国債や県民債等は「国」に○印を、それぞれ付してください。

また、通帳や証書（国債証券及び地方債証券を除く。）のコピーを添付してください。

	5	6	7	8	9	合 計
種 別	現 金	普・定・国	普・定・国	普・定・国	普・定・国	
金融機関名 (支店名)						
口座番号						
保管者						
確認日	. .	. .	. .	. .	. .	
最終残額	円	円	円	円	円	円
備 考						

ここから下は、後見人になった人が記入する欄です。申立ての際には記入しないでください。

確認日 最終残額	. .	. .	. .	. .	. .	
	円	円	円	円	円	円
	. .	. .	. .	. .	. .	
	円	円	円	円	円	円
	. .	. .	. .	. .	. .	
	円	円	円	円	円	円
備 考	. .	. .	. .	. .	. .	
	円	円	円	円	円	円
	. .	. .	. .	. .	. .	
	円	円	円	円	円	円
	. .	. .	. .	. .	. .	
	円	円	円	円	円	円

※（注）定期預金や国債等は額面の記入で結構です。

2 生命保険・損害保険等（証書のコピーを添付してください。）

※ 契約者又は受取人が本人である契約を記入してください。

	種 別	保険会社	額 面	契約者	受取人	保管者	備 考
1							
2							
3							
4							
5							
6							

3 投資信託・株式等（証書又は取引証明書等のコピーを添付してください。）

	種 別	取引会社・銘柄など	数 量 (現時点評価額も記入)	保管者	備 考
1			----- 評価額 円		
2			----- 評価額 円		
3			----- 評価額 円		
4			----- 評価額 円		
5			----- 評価額 円		
6			----- 評価額 円		

4 年金（証書等のコピーを添付してください。）

	種 別	年金証書番号	年金受取金額	保管者	備 考
1					
2					
3					

5 不動産（不動産登記簿謄本・固定資産評価証明書を添付してください。）

固定資産評価証明書に代えて固定資産税納税通知書のコピーでも結構です。

	種別	所 在 地	評価額（円）	地目等	地積（床面積）	現 状
1	土地 建物					
2	土地 建物					
3	土地 建物					
4	土地 建物					
5	土地 建物					

6 動産・その他（自動車など登録がされているものは登録証の写しを添付してください。）

	品 目（標 目）	数 量	価 格（概算）	保 管 者	備 考
1					
2					
3					
4					
5					

7 本人の債権（貸付金等）

（契約書等の債権（貸付金）額や期間が分かるもののコピーを添付してください。）

	1	2	3	4	5	
種 別						合 計
債務者 （貸付先）						
貸付等 総 額	円	円	円	円	円	
完済予定日	・ ・	・ ・	・ ・	・ ・	・ ・	
確認日	・ ・	・ ・	・ ・	・ ・	・ ・	
残 額	円	円	円	円	円	円
備 考						

8 本人の債務（借金等）

（契約書等の債務の返済額や期間が分かるもののコピーを添付してください。）

	1	2	3	4	5	合 計
種 別						
債権者 (返済先)						
借入等 総 額	円	円	円	円	円	
完済予定日	・ ・	・ ・	・ ・	・ ・	・ ・	
確認日	・ ・	・ ・	・ ・	・ ・	・ ・	
最終残額	円	円	円	円	円	円
備 考						

ここから下は、後見人になった人が記入する欄です。申立ての際には記入しないでください。

確認日 最終残額	・ ・	・ ・	・ ・	・ ・	・ ・	
	円	円	円	円	円	円
	・ ・	・ ・	・ ・	・ ・	・ ・	
	円	円	円	円	円	円
	・ ・	・ ・	・ ・	・ ・	・ ・	
	円	円	円	円	円	円
	・ ・	・ ・	・ ・	・ ・	・ ・	
	円	円	円	円	円	円
備 考						

本人氏名

財産目録(被相続人 の遺産・法定相続分 分の)

1 現金・預貯金・国債(県民債・市債を含みます。)

※ 普通預貯金や通常貯金等は「普」に○印を、定期預貯金や定額貯金等は「定」に○印を、国債、県民債、市債等は「国」に○印を、それぞれ付してください。

また、通帳や証書(国債証券及び地方債証券を除く。)のコピーを添付してください。

なお、1番は現金ですが、現金管理はできるだけ少額にしてください。

	1	2	3	4	5	
種 別	現 金	普・定・国	普・定・国	普・定・国	普・定・国	
金融機関名 (支店名)						合 計
口座番号						
保管者						
確認日	. .	. .	. .	. .	. .	
最終残額	円	円	円	円	円	円
備 考						

ここから下は、後見人になった人が記入する欄です。申立ての際には記入しないでください。

確認日 最終残額	. .	. .	. .	. .	. .	
	円	円	円	円	円	円
	. .	. .	. .	. .	. .	
	円	円	円	円	円	円
	. .	. .	. .	. .	. .	
	円	円	円	円	円	円
備 考						

※(注) 定期預金や国債等は額面の記入で結構です。

(※ 前ページで足りない場合に記入してください。その場合は前ページの合計欄は記入せず、このページの合計欄に記入してください。)

※ 普通預貯金や通常貯金等は「普」に○印を、定期預貯金や定額貯金等は「定」に○印を、国債や県民債等は「国」に○印を、それぞれ付してください。

また、通帳や証書（国債証券及び地方債証券を除く。）のコピーを添付してください。

	5	6	7	8	9	
種 別	現 金	普・定・国	普・定・国	普・定・国	普・定・国	
金融機関名 (支店名)						合 計
口座番号						
保管者						
確認日	. .	. .	. .	. .	. .	
最終残額	円	円	円	円	円	円
備 考						

ここから下は、後見人になった人が記入する欄です。申立ての際には記入しないでください。

確認日 最終残額	. .	. .	. .	. .	. .	
	円	円	円	円	円	円
	. .	. .	. .	. .	. .	
	円	円	円	円	円	円
	. .	. .	. .	. .	. .	
	円	円	円	円	円	円
備 考						

※（注）定期預金や国債等は額面の記入で結構です。

2 生命保険・損害保険等（証書のコピーを添付してください。）

※ 契約者又は受取人が本人である契約を記入してください。

	種 別	保険会社	額 面	契約者	受取人	保管者	備 考
1							
2							
3							
4							
5							
6							

3 投資信託・株式等（証書又は取引証明書等のコピーを添付してください。）

	種 別	取引会社・銘柄など	数 量 (現時点評価額も記入)	保管者	備 考
1			----- 評価額 円		
2			----- 評価額 円		
3			----- 評価額 円		
4			----- 評価額 円		
5			----- 評価額 円		
6			----- 評価額 円		

4 年金（証書等のコピーを添付してください。）

	種 別	年金証書番号	年金受取金額	保管者	備 考
1					
2					
3					

5 不動産（不動産登記簿謄本・固定資産評価証明書を添付してください。）

固定資産評価証明書に代えて固定資産税納税通知書のコピーでも結構です。

	種別	所 在 地	評価額（円）	地目等	地積（床面積）	現 状
1	土地 建物					
2	土地 建物					
3	土地 建物					
4	土地 建物					
5	土地 建物					

6 動産・その他（自動車など登録がされているものは登録証の写しを添付してください。）

	品 目（標 目）	数 量	価 格（概算）	保 管 者	備 考
1					
2					
3					
4					
5					

7 被相続人の債権（貸付金等）

（契約書等の債権（貸付金）額や期間が分かるもののコピーを添付してください。）

	1	2	3	4	5	合 計
種 別						
債務者 （貸付先）						
貸付等 総 額	円	円	円	円	円	
完済予定日	・ ・	・ ・	・ ・	・ ・	・ ・	
確認日	・ ・	・ ・	・ ・	・ ・	・ ・	円
残 額	円	円	円	円	円	
備 考						

8 被相続人の債務（借金等）

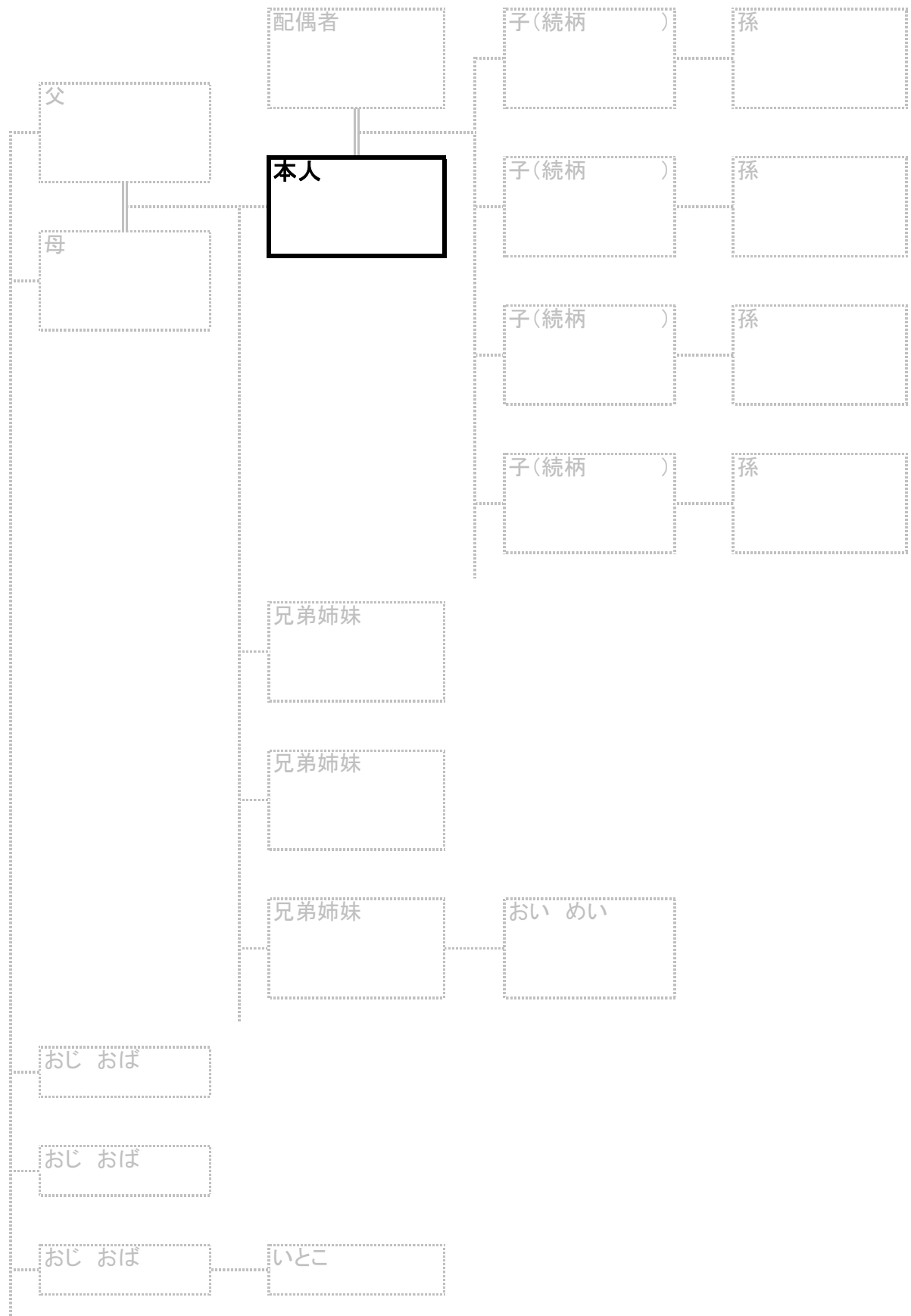
（契約書等の債務の返済額や期間が分かるもののコピーを添付してください。）

	1	2	3	4	5	合 計
種 別						
債権者 (返済先)						
借入等 総 額	円	円	円	円	円	
完済予定日	・ ・	・ ・	・ ・	・ ・	・ ・	
確認日	・ ・	・ ・	・ ・	・ ・	・ ・	
最終残額	円	円	円	円	円	円
備 考						

ここから下は、後見人になった人が記入する欄です。申立ての際には記入しないでください。

確認日 最終残額	・ ・	・ ・	・ ・	・ ・	・ ・	
	円	円	円	円	円	円
	・ ・	・ ・	・ ・	・ ・	・ ・	
	円	円	円	円	円	円
	・ ・	・ ・	・ ・	・ ・	・ ・	
	円	円	円	円	円	円
	・ ・	・ ・	・ ・	・ ・	・ ・	
	円	円	円	円	円	円
備 考						

親 族 関 係 図



親族同意書について

家庭裁判所は、申立ての内容や誰が成年後見人等として適当であるかなどについて、ご親族の皆さんの意見を参考に、手続を進めています。

意見を聴かなければならないご親族としては、将来、ご本人の相続人となる立場の方などで、例えば、ご本人の配偶者や子どもです。配偶者や子どもがいない場合には、両親、兄弟姉妹です。

ご親族に異論がない場合、申立時に皆さんの同意書を提出していただきますと、比較的速やかに手続が進みます。

ご親族が遠方にいたり、これまでの経緯から同意を得ることが難しいといった事情がある場合には、申立時に同意書を提出していただかなくても差し支えありません。

この同意書には、同意をされるご親族が必ず署名押印を
してください。

なお、場合によっては、家庭裁判所が同意の内容について、直接確認することもあります。

親 族 同 意 書

家庭裁判所 支部 裁判官 殿

1 私は、本人 _____ の _____ です。

2 私は、本人について、（ 後見 ・ 保佐 ・ 補助 ）開始の審判をすることに同意します。

3 本人の（ 後見人 ・ 保佐人 ・ 補助人 ）に、候補者である _____ が選ばれることに同意します。

平成 年 月 日

住所 〒 _____

氏名 _____ 印

固定又は携帯電話番号 _____ — _____